

**地域活性化に向けた
JAくらしの活動実践事例
【 Vol. 3 】**

平成 30 年 10 月

宮城県農業協同組合中央会

地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A 仙台】

I . J A の概況 (平成 30 年 3 月末現在)

- 本店所在地：仙台市宮城野区新田東 2 丁目 15-1
- 組合員数：34,144 人
(正組合員 12,238 人、准組合員 21,906 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 2,936.9 億円
 - ・貸出金残高 966.1 億円
 - ・長期共済保有高 8,718.1 億円
 - ・購買品供給高 34.5 億円
 - ・販売品販売高 39.5 億円



II . 主な取り組み概要

J A や農業を身近に 一般公募による農業体験塾

J A 仙台では、事業展開している食農教育の一環として、米栽培や野菜栽培体験等の一連の農業体験を通じ一般消費者に「農業」の大切さや、「食」がもつ多様な役割を伝える農業体験塾「あぐり塾」を開催している。

あぐり塾では毎年河北ウィークリーに塾生募集を掲載し、応募があった限定 25 名程度を対象に、農作業体験や施設見学など、年間を通して季節に応じた体験を行っている。今年も 23 名の参加者が「松森地区での露地栽培における野菜栽培・収穫」「根白石のりんごの摘果」「田植え・生育調査・生き物調査」等の体験を行った。

5 月の田植え体験では、本店付近の圃場で 10a ほど、手植えによる田植えを行った。

参加者からは「田植え体験は初めてで緊張した」「足がはまってしまって大変な作業だったが面白かった」などの感想があった。

今後も J A や農業を身近に感じてもらうイベントを展開していく。



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA岩沼市】

I. JAの概況（平成30年3月末現在）

- 本店所在地：岩沼市中央二丁目5-30
- 組合員数：3,852人
（正組合員347人、准組合員3,505人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高308.6億円
 - ・貸出金残高105億円
 - ・長期共済保有高531.2億円
 - ・購買品供給高1.5億円
 - ・販売品販売高4千万円



II. 主な取り組み概要

難聴者も安心 卓上型会話システムの窓口への導入

JA岩沼市では、高齢者に配慮した環境を整えるため、平成30年度より、耳が不自由な人にクリアな音声を伝えるスピーカーシステム「COMUOON（コミュニケーション）」4台を窓口等に配備している。



マイクを通して話すとスピーカーから声がより明瞭に聞こえる仕組み。スピーカーの指向性を高めることで音声が外部にほとんど聞こえることがなく、会話中のプライバシーを守ることができる。

当機は本店、本店北購買店、西支店に加え、高齢者向けの送迎サービス車「らくちんGO！」の4ヶ所に設置しており、老人性難聴とみられる顧客や聴覚障害者が来店した場合、職員がコミュニケーションのある場所へ誘導する体制をとって

いる。

難聴者に大声で話したり、筆談や補聴器の着用を強いる必要がないことから、JAも滞りなくコミュニケーションがとれることが大きな魅力である。

JA常務理事は「声が聞き取りにくい方も、気兼ねなく利用できるようにした。安心して来店してほしい」と話している。



地域活性化に向けたJAくらしの活動

【JA名取岩沼】

I. JAの概況（平成30年3月末現在）

- 本店所在地：名取市増田一丁目12-36
- 組合員数：6,658人
（正組合員4,895人、准組合員1,763人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高578.3億円
 - ・貸出金残高129.4億円
 - ・長期共済保有高2,080.6億円
 - ・購買品供給高17.1億円
 - ・販売品販売高30.5億円



II. 主な取り組み概要

思い出の人形・ぬいぐるみへ感謝を込めて

JA名取岩沼では、やすらぎホール美田園において、「人形・ぬいぐるみ供養祭」を毎年開催している。2月17日に開催した供養祭では、地域の人たちより愛着のあった人形・ぬいぐるみの約2,500体が集められた。

人形・ぬいぐるみは、寺の住職による供養式のあと、お焚き上げされる。供養式には約50名が参加し、住職の読経が始まると、参加者は、幼い頃より大切にしてきた人形に対し想いを馳せながら手をあわせた。

供養料は無料だが、募金活動を実施し、参加者から集められた募金は社会福祉協議会へ全額寄付される。



葬祭課の職員は、「愛着のあった人形を供養する事で物に感謝したり物を大事にする気持ちが芽生え、更には子供たちの情操教育にも繋がる」として大変意義のある供養である。今後も、供養祭を通して地域交流の活性を根差し、社会貢献の一端を担いたく、毎年開催してゆきたい」と供養祭の継続に意欲を見せている。

地域活性化に向けた J A ぐらしの活動

【 J A みやぎ亘理】

I . J A の概況 (平成 30 年 3 月末現在)

- 本店所在地 : 亘理郡亘理町逢隈田沢字遠原 36
- 組合員数 : 5,865 人
(正組合員 4,063 人、准組合員 1,802 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 657.5 億円
 - ・貸出金残高 74.4 億円
 - ・長期共済保有高 1,954 億円
 - ・購買品供給高 16.9 億円
 - ・販売品販売高 53.5 億円



II . 主な取り組み概要

被災者の声から生まれた「拠り所」で仲間づくり

J A みやぎ亘理の荒浜支所では、被災して地区外に移り住んだ組合員・地域住民が、孤独で仲間と話せる場所がないという声を受けたことをきっかけに、J A が拠り所となればと、昨年度より隔月で年金受給日に合わせたお客様感謝デーを実施している。



6 月 15 日に開催した感謝デーでは、飲み物とお菓子を用意し、来店者をもてなした。直売所「おおくまふれあいセンター」の野菜や花、惣菜の販売も行ったほか、同地区女性部と協力し、七夕飾りの制作も行った。多くの来店者が楽しみながら飾りを作り、短冊に願いを込めた。

また、J A の全 6 支所において、15・18 日に年金を受け取った方がかつ窓口・A T M で取引していただいた方へ、トイレットペーパーをプレゼントした。

今後は地産地消を進めるための「料理講習会」や「A E D 講習会」を予定しているほか、J A からののお知らせや耳より情報を発信し、J A を「拠り所」としたと仲間作りを進めていくこととしている。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A あさひな】

I . J A の概況 (平成 30 年 3 月末現在)

- 本店所在地：黒川郡大和町吉岡南三丁目 6-2
- 組合員数：7,520 人
(正組合員 5,591 人、准組合員 1,929 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 454.8 億円
 - ・貸出金残高 126.8 億円
 - ・長期共済保有高 2,178 億円
 - ・購買品供給高 31.3 億円
 - ・販売品販売高 45.5 億円



II . 主な取り組み概要

男性層の食・農への関心深め J A ファン確保へ

J A あさひなでは、次世代の地域や農業を担う若手組合員や地域住民に、楽しみながら J A 組織への理解を深めてもらい、J A ファンになるきっかけづくりを目的として、管内在住の 20 歳から 50 歳未満の男性を対象に「俺の講座」を新たに開講した。



7 月 8 日、J A 本店において第 1 回の講座を開催し、6 人の男性が参加した。

「俺の本格インドカレー」と題し、インドのニューデリー出身で現在は宮城県美里町で農業を営むブシャン・アケボノさんを講師に迎え、カレーを一切使わず、数種類のスパイスのみで作る本格インドカレー作りを学んだ。参加者は講師の説明を聞きながら、材料を分担して調理し、最

後は完成したカレーを試食した。「単身赴任なのでこんな本格的なカレーを作ったのは初めて」「とても簡単で子供たちと一緒に作れる」「始めて J A の事業に参加した」と笑顔で話していた。

J A では、今後も特定の方を対象とした様々な活動を行うことで、幅広い世代の方々に J A へ興味をもってもらうこととしている。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動

【 J A みやぎ仙南 】

I . J A の概況 (平成 30 年 3 月末現在)

- 本店所在地 : 柴田郡柴田町西船迫一丁目 10-3
- 組合員数 : 29,879 人
(正組合員 18,201 人、准組合員 11,678 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,147.3 億円
 - ・貸出金残高 356.7 億円
 - ・長期共済保有高 6,372.5 億円
 - ・購買品供給高 44.8 億円
 - ・販売品販売高 91.3 億円



II . 主な取り組み概要

女性大学で「スキルアップ」と「仲間づくり」

J A みやぎ仙南では、管内の女性を対象に女性大学「カレッジ輝楽里」を平成 27 年度より開催しており、3 年目となる今年度は 31 人の受講生が集まった。



J A の新しい仲間づくりが目的で、子育て世代も気軽に参加できるように、託児も完備している。

講座は全 6 回。1 回目 (7/11) は、専門講師の指導の下「ハーバリウム」作りを実施した。

2 回目 (8/2) は「ミニ遠足」として受講生の子どもも参加し、白石市小下倉地区の圃場にて野菜の収穫体験を行ったあと、シンケンファクトリーで米やトマト、タマネギなど地場産の「めぐみ野」食材を使った料理に舌鼓を打った。



3 回目 (9/12) は、シンケンファクトリー料理長の指導のもと、A コープ商品を使った料理教室を行った。

受講者からは「きれいな作品が出来て嬉しかった」「楽しく充実した時間を過ごせた」「農家の方とのふれあいもあり貴重な体験だった」「地場産食材の美味しさを再発見できた」と、毎回好評を得ている。



J A 常務理事は、開講式で「普段出来ないことを楽しんでもらうとともに、ぜひ仲間作りも頑張ってもらいたい」と挨拶し、講座を通してスキルアップと参加者同士の交流、そして J A 女性部への加入促進を目指している。

地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A 古川 】

I . J A の概況 (平成 30 年 3 月末現在)

- 本店所在地 : 宮城県大崎市古川北町三丁目 10-36
- 組合員数 : 10,939 人
(正組合員 8,800 人、准組合員 2,139 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 613.4 億円
 - ・貸出金残高 187.5 億円
 - ・長期共済保有高 2,286.7 億円
 - ・購買品供給高 25.7 億円
 - ・販売品販売高 63.1 億円



II . 主な取り組み概要

親子で世界農業遺産を「体験」

J A 古川は、家族参加型の食農体験イベント「ファミリーアグリパーク」を平成 29 年度より実施している。

今年度は 7 月 14 日に第 1 回を開き、地域住民 5 組 11 人が参加。昨年 12 月に国連食糧農業機関 (FAO) の世界農業遺産に認定された『大崎耕土』について学んだ。

大崎市古川の太友麗子さんの自宅を訪問し、世界農業遺産に認定された要因の一つである屋敷林「居久根 (いぐね)」を見学した。

太友さんは「雨や土砂の被害を軽減し、防災にも繋がる。夏は日陰を作り涼しく過ごせる」と、居久根の役割について参加者に説明し、ブナ科の樹木に集まってきたルリタテハ等の昆虫に、子どもたちは大喜びだった。



参加者は「初めて『居久根』に入ったが、思っていたよりずっと涼しく、快適だった」と満足した様子であった。

J A は今後も、食と農への体験を通じて、地域農業や J A のことを知ってもらおう活動を続けていくこととしている。

地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A 加美よつば】

I . J A の概況 (平成 30 年 3 月末現在)

- 本店所在地 : 加美郡色麻町四竈字爪木町 14- 1
- 組合員数 : 7,743 人
(正組合員 6,713 人、准組合員 1,030 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 480.8 億円
 - ・貸出金残高 101.2 億円
 - ・長期共済保有高 2,352.9 億円
 - ・購買品供給高 40.7 億円
 - ・販売品販売高 74.6 億円



II . 主な取り組み概要

次世代を担う子どもたちへ 各支店独自の取組みを企画

J A 加美よつばでは、食農教育の一環として、次世代を担う子ども達に食と農の大切さや素晴らしさなどを伝え、地域交流の輪を広げる活動に取り組んでいる。

平成 30 年度は支店ごとにオリジナルのカリキュラムを企画。家の光協会が発行する「家の光」、「ちゃぐりん」を活用し農業クイズや工作などを行い、子ども達と交流を深めながら楽しい時間を過ごしてもらっている。

小野田支店では「 J A 加美よつばキッズ企画」を開催し、児童館に通う子ども達に呼び掛け 21 人が参加。家の光の記事を活用し、毛糸で作



る苔玉作り教室を開催した。

子ども達は好きな植物を選び、 J A 職員から水苔の付け方や毛糸の巻き方などを教わりながらカラフルな苔玉作りに挑戦した。

J A では、今後も食農教育や地域農業の活性化のために次世代へ農をつなぐ活動に積極的に取り組んでいくこととしている。

地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JAいわでやま】

I. JAの概況（平成30年3月末現在）

- 本店所在地：大崎市岩出山下野目字二ツ屋 39
- 組合員数：3,648人
（正組合員 2,665人、准組合員 983人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 137.7億円
 - ・貸出金残高 21.1億円
 - ・長期共済保有高 738.5億円
 - ・購買品供給高 14.6億円
 - ・販売品販売高 20.6億円



II. 主な取り組み概要

地域の声をうけ直売所に「ベーカリーカフェ」を併設

JAいわでやまでは、農業者の所得増大・農業生産の拡大の一助として、昨年8月に直売所「メルカド四季彩館」の隣に「ベーカリーカフェ メルカド」をオープンさせた。

組合員が出荷した「トマト」「ズッキーニ」「玉ねぎ」「ピーマン」「レタス」「きゅうり」を具材に常時40種類以上のパンやピザ、サンドイッチを販売しており、ハンバーグ・ベーコン・目玉焼き・トマトを挟んだ「スペシャルバーガー」が店の看板商品である。また、オリジナルのソフトクリームや7月から新たに食パン「メルカドバターブレッド」も販売している。



親子連れやご年配の方たちからも大変好評で、常連も順調に増えており、スタッフとの会話も楽しく弾むようになっている。

店の前にはウッドデッキがあり、4月から11月まではオープンカフェを実施。また、パンの販売スペースを設けることにより、当JAの「金融移動店舗車」での購入も可能となっている。

今後も多くの方にご利用いただくため、アンケート等を利用して新商品やオリジナル商品を増やしていく。

地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JAみどりの】

I. JAの概況（平成30年3月末現在）

- 本店所在地：遠田郡美里町素山町1番地
- 組合員数：15,933人
（正組合員12,240人、准組合員3,693人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高1,065億円
 - ・貸出金残高230.3億円
 - ・長期共済保有高4,621.2億円
 - ・購買品供給高51.8億円
 - ・販売品販売高113.9億円



II. 主な取り組み概要

～住みなれた地域で自分らしい生涯を～

ロコモ0（ゼロ）プロジェクトで地域活性を目指す

JAみどりのでは、地域の高齢化率が年々高まる中、「ロコモティブ症候群」（骨・関節・筋肉など体を支えたり動かしたりする運動器の機能が低下し、要介護や寝たきりになる危険が高い状態）を予防することを目的に、「おとなの学び舎」と題したシニア向けフィットネス講座を開催している。

講座ではJA介護予防運動サポーター研修を修了した福祉部職員が講師となり、今年で2年目であるが、これまでに延べ350名が参加するなど、評判も上々。

10回コースのカリキュラムは、筋トレと脳トレを組み合わせながら楽しく、無理なく継続参加することで、運動習慣が自然と身につく内容となっている。

さらに「ボディスパイダー」というドイツ製のフィットネスマシンを県内JA初導入したことにより、つらい筋トレも会話をしながら楽しく効果的にできると好評。今年度はマシンをもう一台追加で導入し、開催会場も増やした。

JAでは今後もロコモ0プロジェクトを展開し、地域活性につとめることとしている。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A 栗っこ 】

I . J A の概況 (平成 30 年 3 月末現在)

- 本店所在地：栗原市志波姫堀口見渡 2-1
- 組合員数：14,640 人
(正組合員 11,636 人、准組合員 3,004 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,026 億円
 - ・貸出金残高 180.2 億円
 - ・長期共済保有高 5,128.6 億円
 - ・購買品供給高 51.8 億円
 - ・販売品販売高 133.1 億円



II . 主な取り組み概要

「わかりやすい」講習会で地域生産者の増加へ

J A 栗っこでは、組合員や地域住民、女性部員を対象に自給野菜栽培講習会を開催している。J A の園芸担当者と外部から講師を招いて、春播き野菜と秋播き野菜に分けて“おいしい野菜を作るコツ”をテーマとして、旬な野菜の紹介や、おいしく作れるような栽培方法を教えている。



多くの方が参加しやすいよう、各支店で開催しており、支店によっては参加者が 100 名以上になることもある。

人前で話ができない、質問がしにくい参加者への配慮として、申込みの際に質問に加えて今更聞きにくい基本の剪定や誘引方法、追肥の時期などといった「困っていること」を質問事項欄に記入してもらい、当日資料に回答を丁寧に

載せることで、分かりやすく学習できると参加者からは大変喜ばれている。

自然災害の影響などにより野菜価格の高騰が進んでいることから、少しでも多くの人たちに自給してもらい、作物を育てることの楽しさや新鮮な野菜のおいしさを知ってもらうことで、野菜の自給率向上と J A への出荷にも繋がることを期待する。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動

【 J A みやぎ登米】

I . J A の概況 (平成 30 年 3 月末現在)

- 本店所在地 : 登米市迫町佐沼字中江 3 丁目 9-1
- 組合員数 : 15,854 人
(正組合員 13,337 人、准組合員 2,517 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,300.8 億円
 - ・貸出金残高 302.6 億円
 - ・長期共済保有高 5,988.6 億円
 - ・購買品供給高 97.3 億円
 - ・販売品販売高 182.1 億円



II . 主な取り組み概要

「JA ファンを増やそう！」ラジオで情報発信スタート

J A みやぎ登米は、J A 自己改革の一環として、6 月 4 日より新たにラジオでの情報発信を始めた。地元の登米コミュニティエフエムが運営する H@!FM (はつとエフエム) 76.7MHz で、主に金融や共済など各種事業の紹介やキャンペーン情報、各支店で催すイベント情報を、週 1 回発信する。

地域住民へ、ラジオの視聴を通して地域農業や J A への理解を深めてもらい、新規組合員の加入や J A 事業の利用促進につなげるのが目的。

1 回目の放送では、J A 組合長が登場。はつとエフエム担当者の質問に答えながら、J A の事業や概要を説明した。

組合長は「放送を聴いて地域住民に J A を知ってもらい、これまで以上に J A に興味を持ってもらいたい」と笑顔で話す。

はつとエフエムでの情報発信は、毎週月曜日の午前 7 時 42 分より、5 分間程度放送。営農情報や各種イベント情報の定期的な情報発信を通じて、地域活性化に貢献していくこととしている。



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA南三陸】

I. JAの概況（平成30年3月末現在）

- 本店所在地：本吉郡南三陸町志津川字廻館 97
- 組合員数：10,709人
（正組合員 5,375人、准組合員 5,334人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 638.8億円
 - ・貸出金残高 141.1億円
 - ・長期共済保有高 3,167.2億円
 - ・購買品供給高 18.7億円
 - ・販売品販売高 14億円



II. 主な取り組み概要

野菜栽培管理のコツをプロから学ぶ

JA南三陸では、管内産野菜の生産量拡大と生産者の収益向上を目指し、各種講習会を年に数回開催している。

今年は、3月26日に気仙沼支店、28日に本吉支店と南三陸ポータルセンターでそれぞれ「野菜作り講習会」を開催した。



講習会には家庭菜園愛好家など、地域住民が3会場合わせて70名が参加し、野菜の栽培管理についてのコツを学んだ。

講師には株式会社 渡辺採種場の職員を招き、参加者はニンニクやタマネギの追肥のタイミング、ジャガイモやキャベツ、ダイコン等の播種時の注意点などを学んだ。

参加者は「播種時の土作りや、これまで悩まされていた病害虫の効果的な防除の仕方がわかった」と話した。

JAは今後も、生産者の収益向上を目指し、地域ブランド作物などの生産拡大に向け、適時に各種講習会等を開きサポートを継続することとしている。



地域活性化に向けたJAくらしの活動

【JAいしのまき】

I. JAの概況（平成30年3月末現在）

- 本店所在地：石巻市中里五丁目1-12
- 組合員数：17,591人
（正組合員数9,861人、准組合員7,730人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,562.7 億円
 - ・貸出金残高 435.6 億円
 - ・長期共済保有高 6,111.6 億円
 - ・購買品供給高 71.6 億円
 - ・販売品販売高 118.2 億円



II. 主な取り組み概要

地域の子育て支援と連携し料理教室を開催

JAいしのまきでは、女性部河南地区と協力し、7月3日に石巻市の河南子育て支援センターの利用者を対象に、河南支店で1回目の米粉料理教室を開いた。

支店と同センターが隣接していることや、部員の「子育てをする若いお母さんに米粉の使い方やJAのことを伝えたい」という思いを受けて、昨年からの利用者を対象とした料理教室を企画しており、今回は親子で手軽にできるこめ粉ピザ作りを行った。

教室では親子9人が参加。部員が作り方を説明し、参加者は会話を楽しみながら和やかな雰囲気調理した。

最後にはJAのチラシやちょリスグッズ、ちゃぐりんなどをプレゼントし、JAへの関心を深めてもらった。



同地区女性部長は「米粉の普及につなげるとともに、若い世代の女性がJAを利用するきっかけになれば。最終的にはフレッシュミズの会員になってもらえたらうれしい」と話す。

同部では今後も同センターのイベントに協力するなど連携を続け、子育て世代にJAと農業の魅力を伝えていく。

